

西知多医療厚生組合
特定事業主行動計画

令和3年(2021年)3月

西知多医療厚生組合

目次

1	はじめに.....	1
2	計画期間及び目標年度.....	1
3	計画の推進体制等.....	1
4	現状把握及び分析.....	2
5	目標設定及び取組内容.....	8

資料編

	西知多医療厚生組合特定事業主行動計画の策定に向けた職員アンケート結果....	資料-1
--	--	------

1 はじめに

我が国における急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るため、職場・地域における子育てしやすい環境の整備に向け、平成 15 年(2003 年)に次世代育成支援対策推進法(平成 15 年法律第 120 号)が制定されました。

次世代育成支援対策推進法では、次世代育成支援対策の推進を図るに当たり、地方公共団体等の機関(以下「特定事業主」という。)においては、職員の仕事と家庭の両立等に関し、国が策定した行動計画策定指針に即して、目標、目標達成のために講じる措置の内容等を記載した行動計画を策定し、公表することが義務付けられています。

また、平成 27 年(2015 年)には、自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性はその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍することを目指し、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成 27 年法律第 64 号、以下「女性活躍推進法」という。)が制定されました。

女性活躍推進法においても、特定事業主が女性の職業生活における活躍に関する状況を把握・分析した上で、目標、目標達成のための取組の内容等を記載した行動計画の策定・公表が義務付けられています。

この次世代育成支援対策推進法と女性活躍推進法は、職業生活と家庭生活の両立を目指す方向性が一致しており、各法律の背景や課題には共通する点が多いことから、一体的に取り組むことで高い成果を得ることが期待できます。

そこで、西知多医療厚生組合では、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を一体的に策定することとし、次代の社会を担う子どもの健全な育成や性別を問わず本人の意思が尊重され、職場でも家庭でも活躍できる環境づくりを進めていきます。

2 計画期間及び目標年度

本計画の計画期間は令和 3 年(2021 年) 4 月 1 日から令和 8 年(2026 年) 3 月 31 日までの 5 年間とし、目標年度は計画期間の取組結果を反映できる令和 8 年度(2026 年度)とします。

3 計画の推進体制等

- (1) 次世代育成支援対策及び女性活躍推進施策について周知・啓発等を行います。
- (2) 次世代育成支援対策及び女性活躍推進施策に関する相談窓口を設置します。
- (3) 毎年、実施状況を点検・評価し、必要に応じてその後の取組等に反映させます。
- (4) 毎年、本計画に基づく前年度の取組の実施状況をホームページで公表します。

4 現状把握及び分析

(1) 現状把握

ア 設定指標及び現状値

本計画の策定に当たり、現状把握を行うため、次のとおり、指標を設定し、令和元年度(2019年度)の現状値を把握します。

No	設定指標			現状値 [令和元年度] (2019年度)	該当法律			
					次世代 育成支援 対策推進法	女性活躍 推進法		
1	年次有給休暇の取得日数の状況		取得日数	平均 11.5 日	○			
2	女性職員の採用割合		総務部	採用者なし		○		
			病院(※)	約 63.1%				
			看護専門学校(※)	約 75.0%				
3	継続勤務年数の男女差 (+…女性の年数が長い) (△…女性の年数が短い)		総務部	+4.5年	○	○		
			病院(※)	△0.4年				
			看護専門学校(※)	+0.2年				
4	時間外勤務 (超過勤務) の状況	時間外勤務時間 (1人当たり月平均)	管理職	約 10.0 時間	○	○		
			管理職以外	約 12.5 時間				
		時間外勤務の上限を超えた職員数		78人				
5	管理職の女性割合			約 50.7%		○		
6	各役職段階の 職員の女性割合 及びその伸び率		部・次長級	女性割合	約 42.1%		○	
				伸び率	+5.7%			
			課長級	女性割合	約 33.0%			
				伸び率	△9.9%			
			課長補佐級	女性割合	約 77.8%			
				伸び率	+3.4%			
7	男女別の 育児休業取得率 及び取得期間の状況		総務部	男性	取得率	該当者なし	○	○
				取得期間	該当者なし			
				女性	取得率	該当者なし		
				取得期間	該当者なし			
			病院 (※)	男性	取得率	約 4.3%		
				取得期間	平均 61 日			
				女性	取得率	100.0%		
				取得期間	平均 665 日			
			看護 専門学校 (※)	男性	取得率	該当者なし		
				取得期間	該当者なし			
				女性	取得率	該当者なし		
				取得期間	該当者なし			

※「病院」は公立西知多総合病院、「看護専門学校」は公立西知多看護専門学校をいう。

No	設定指標	現状値 [令和元年度] (2019年度)	該当法律		
			次世代 育成支援 対策推進法	女性活躍 推進法	
8	男性の配偶者出産休暇の取得率 及び取得日数の状況	取得率	約 50.0%	○	○
		取得日数	平均 0.7 日		
9	男性の育児参加休暇の取得率 及び取得日数の状況	取得率	約 6.3%	○	○
		取得日数	平均 0.2 日		
10	セクシャル・ハラスメント等対策の整備状況	整備済			○

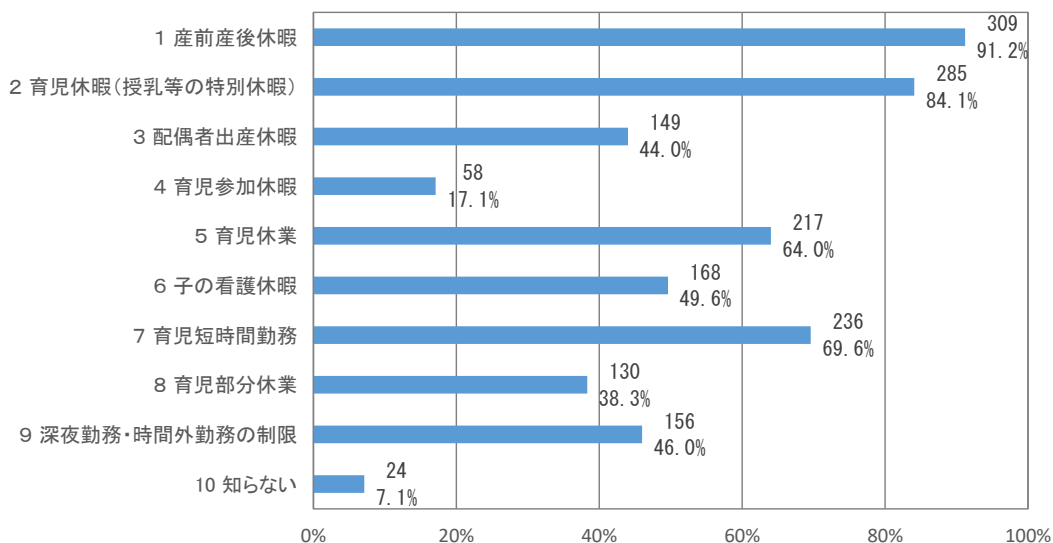
イ 職員アンケート

本計画の策定に当たり、職員の意識に関する現状把握を行うため、職員アンケートを実施しました。主な設問の結果は、次のとおりです。なお、職員アンケートの概要及び結果については、本計画の資料編に掲載します。

(7) 妊娠中及び出産後に関する休暇や制度の認知度

複数回答あり、n=339 人

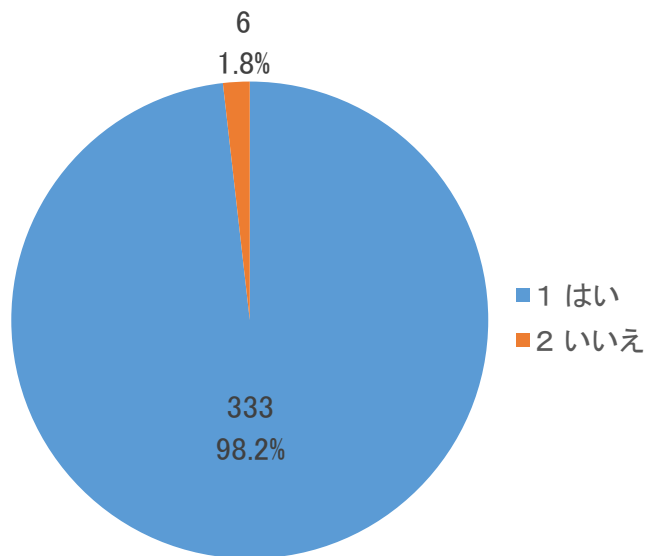
項目	回答者数	割合
1 産前産後休暇	309 人	91.2%
2 育児休暇（授乳等の特別休暇）	285 人	84.1%
3 配偶者出産休暇	149 人	44.0%
4 育児参加休暇	58 人	17.1%
5 育児休業	217 人	64.0%
6 子の看護休暇	168 人	49.6%
7 育児短時間勤務	236 人	69.6%
8 育児部分休業	130 人	38.3%
9 深夜勤務・時間外勤務の制限	156 人	46.0%
10 知らない	24 人	7.1%



(イ) 院内保育所「さくらんぼハウス」の認知度

n=339 人

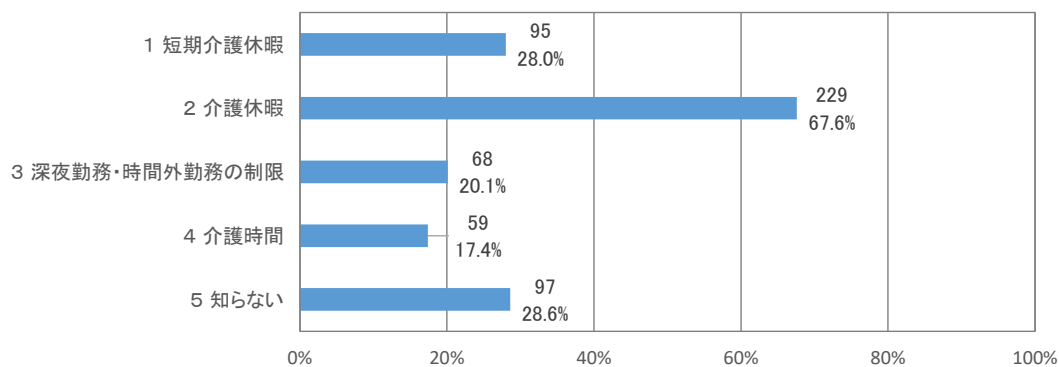
項目	回答者数	割合
1 はい	333 人	98.2%
2 いいえ	6 人	1.8%



(ウ) 介護に関する休暇や制度の認知度

複数回答あり、n=339 人

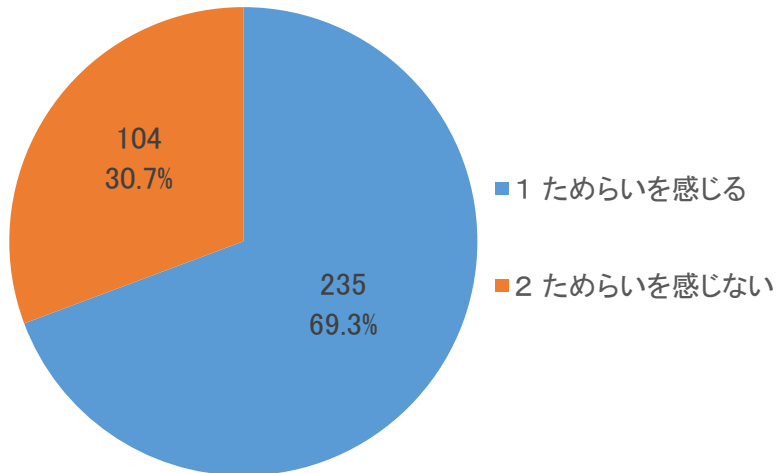
項目	回答者数	割合
1 短期介護休暇	95 人	28.0%
2 介護休暇	229 人	67.6%
3 深夜勤務・時間外勤務の制限	68 人	20.1%
4 介護時間	59 人	17.4%
5 知らない	97 人	28.6%



(エ) 年次有給休暇取得へのためらい

n=339 人

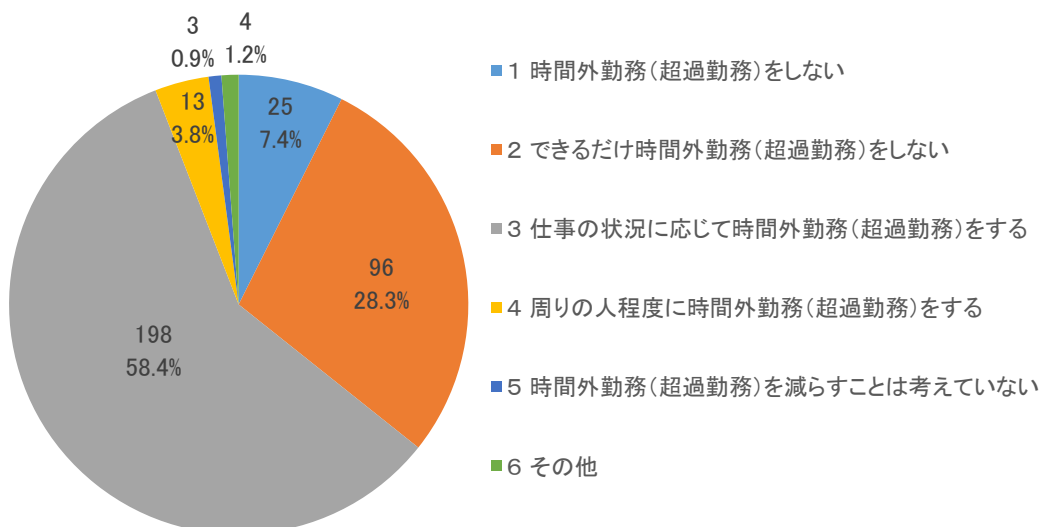
項目	回答者数	割合
1 ためらいを感じる	235 人	69.3%
2 ためらいを感じない	104 人	30.7%



(オ) 時間外勤務（超過勤務）についての考え方

n=339 人

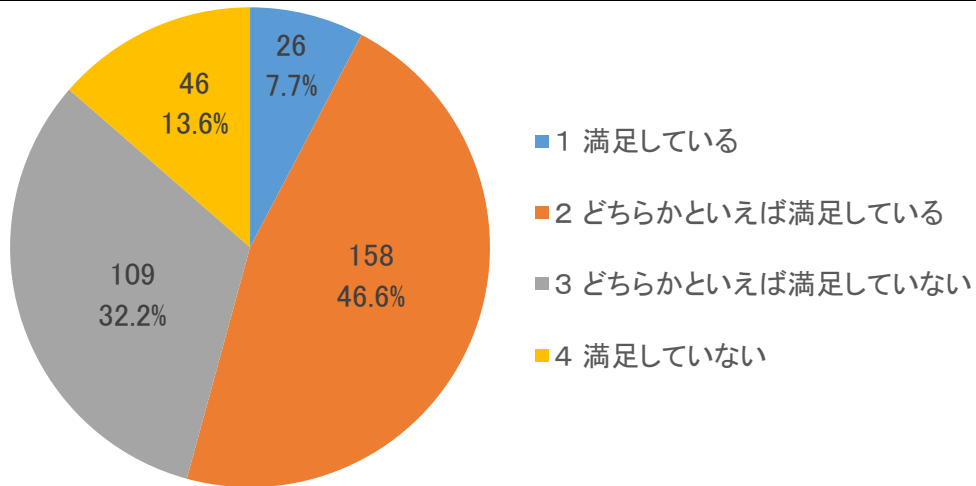
項目	回答者数	割合
1 時間外勤務（超過勤務）をしない	25 人	7.4%
2 できるだけ時間外勤務（超過勤務）をしない	96 人	28.3%
3 仕事の状況に応じて時間外勤務（超過勤務）をする	198 人	58.4%
4 周りの人程度に時間外勤務（超過勤務）をする	13 人	3.8%
5 時間外勤務（超過勤務）を減らすことは考えていない	3 人	0.9%
6 その他	4 人	1.2%



(カ) 今の働き方への満足度

n=339 人

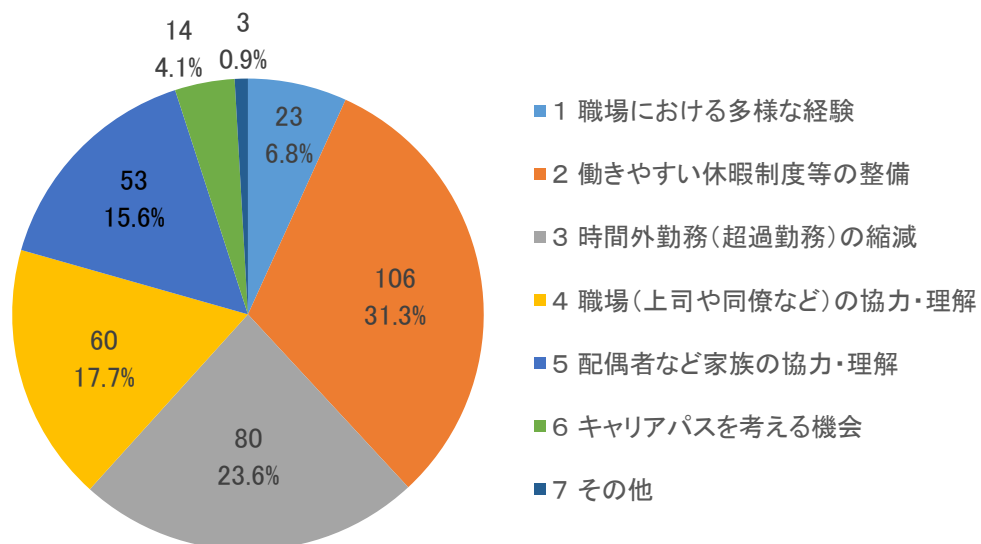
項目	回答者数	割合
1 満足している	26 人	7.7%
2 どちらかといえば満足している	158 人	46.6%
3 どちらかといえば満足していない	109 人	32.2%
4 満足していない	46 人	13.6%



(キ) 女性活躍推進に必要なもの

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 職場における多様な経験	23 人	6.8%
2 働きやすい休暇制度等の整備	106 人	31.3%
3 時間外勤務(超過勤務)の縮減	80 人	23.6%
4 職場(上司や同僚など)の協力・理解	60 人	17.7%
5 配偶者など家族の協力・理解	53 人	15.6%
6 キャリアパスを考える機会	14 人	4.1%
7 その他	3 人	0.9%



(2) 分析

ア 職業生活と家庭生活の両立に関連する事項(主に次世代育成支援対策推進法)

(関連指標：No. 1、3、4、7、8、9)

- (ア) 年次有給休暇の年間職員1人当たりの取得日数は平均11.5日と、最大付与日数20日に対して約58%の取得率となっています。職員アンケートでは、年次有給休暇の取得にためらいを感じる人の割合が約69%と高い割合となっています。
- (イ) 継続勤務年数の男女差はほとんど差のない結果となっています。
- (ロ) 時間外勤務(超過勤務)の1人当たり月平均時間は、管理職では約10時間、管理職以外では約13時間となっています。また、時間外勤務の上限を超えた職員は78人となっています。職員アンケートでは、約58%の職員が「仕事の状況に応じて時間外勤務(超過勤務)をする」と考えており、約36%の職員が「時間外勤務(超過勤務)をしない」又は「できるだけ時間外勤務(超過勤務)をしない」と考えています。
- (ハ) 育児休業取得率は、男性が約4%、女性は100%となっています。また、取得期間は、男性が平均61日、女性が平均665日となっています。なお、総務部及び看護専門学校は育児休業の該当者がいませんでした。
- (ニ) 男性の配偶者出産休暇の取得率は約50%と、対象となる男性職員の半数が取得していない状況です。この原因として、職員アンケートでは配偶者出産休暇の認知度が約44%と、認知度不足が考えられます。
- (ホ) 男性の育児参加休暇の取得率は約6%と、対象となる男性職員のほとんどが取得していない状況です。この原因として、職員アンケートでは育児参加休暇の認知度が約17%と、認知度不足が考えられます。
- (ヘ) 職員アンケートでは、「院内保育所「さくらんぼハウス」の認知度」は約98%とほとんどの職員に認知されています。一方、「介護に関する休暇や制度の認知度」では介護休暇の認知度は約68%と高いものの、その他の介護に関する休暇等の認知度は30%以下と低い水準となっています。また、「今の働き方への満足度」では約54%の職員が「満足している」又は「どちらかといえば満足している」と回答しています。

イ 女性職員の活躍に関連する事項(主に女性活躍推進法)

(関連指標：No. 2、5、6、10)

- (ア) 病院及び看護専門学校ともに、女性職員の採用割合は高い割合となっています。なお、総務部は職員の採用がありませんでした。
- (イ) 管理職の約半数が女性職員であり、特に課長補佐級では約78%と高い割合となっています。

(ウ) 職員アンケートでは、女性活躍推進に必要なものとして、「働きやすい休暇制度等の整備」や「時間外勤務（超過勤務）の縮減」など、職業生活と家庭生活の両立に関連する事項に関わる項目の割合が高い結果となっています。

5 目標設定及び取組内容

これまでの現状把握及び分析を踏まえ、次のとおり、目標年度における目標値を設定するとともに、目標達成に向けた取組内容を定めます。

(1) 職業生活と家庭生活の両立に関連する事項(主に次世代育成支援対策推進法)

ア 目標値の設定

【目標 1】 指標 No. 1 「年次有給休暇の取得日数の状況」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
平均 11.5 日		平均 14 日以上

【目標 2】 指標 No. 4 「時間外勤務（超過勤務）の状況」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
時間外勤務時間 約 12.5 時間 (1人当たり月平均) (管理職以外)		時間外勤務時間 10 時間以下 (1人当たり月平均) (管理職以外)
時間外勤務の上限 78 人 を超えた職員数		時間外勤務の上限 50 人以内 を超えた職員数 (約 36%減)

【目標 3】 指標 No. 7 「男女別の育児休業取得率及び取得期間の状況」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
男性 取得率 約 4.3% 取得期間 平均 61 日		取得率 10.0%以上
女性 取得率 100.0% 取得期間 平均 665 日		取得率 100.0%を維持

【目標 4】 指標 No. 9 「男性の育児参加休暇の取得率及び取得日数の状況」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
取得率 約 6.3%		取得率 20.0%以上
取得日数 平均 0.2 日		取得日数 平均 1 日以上

イ 目標達成に向けた取組内容

(ア) 妊娠中及び出産後における配慮

妊娠中及び出産後の子育て中の職員に対して、過度に業務の負担がかからないように職場全体でサポートします。

(イ) 男性の子育て目的の休暇等の取得促進

配偶者出産休暇や育児参加休暇の認知度を高めるため、全職員への周知を図るとともに、取得促進のため、職場全体で休暇の取りやすい雰囲気をつくります。特に、対象者への個別周知を行い、積極的な取得を促します。

(ロ) 育児休業等を取得しやすい環境の整備等

育児休業等の制度に関する周知を行い、職場の意識改革を図るとともに、対象者に対して、育児休業等の制度・手続の個別説明を行います。

(ハ) 保育施設の設置等

引き続き、院内保育所「さくらんぼハウス」による子育て中の職員へのサポートを継続します。

(ニ) 時間外勤務（超過勤務）の縮減

定例・恒常的業務に係るマニュアル化や会議・打合せにおける電子媒体の活用など、業務の簡素化・合理化を一層推進します。

また、時間外勤務の適正な運用に向け、管理職に時間外勤務の取扱いに関する周知を図り、職場全体で時間外勤務の縮減に向けた雰囲気づくりを行うとともに、所属職員の時間外勤務の縮減についての認識の徹底を図ります。

(ホ) 休暇の取得の促進

職員全員がためらいを感じず平等に年次有給休暇等が取得できる雰囲気づくりに向けて、職場内でのコミュニケーションを図ります。

また、職員やその家族の誕生日などの記念日、子どもの行事などに合わせた年次有給休暇の取得促進を図ります。

(ヘ) テレワーク等の推進

新型コロナウイルス感染症等への対応も含め、多様な働き方が可能となるよう、テレワーク等の推進に向けた体制整備に取り組みます。

(2) 女性職員の活躍に関連する事項(主に女性活躍推進法)

ア 目標値の設定

【目標 5】 指標 No. 5 「管理職の女性割合」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
約 50.7%		50%以上を維持

【目標6】 指標 No.6 「各役職段階の職員の女性割合及びその伸び率」

現状値[令和元年度](2019年度)	⇒	目標値[令和8年度](2026年度)
女性割合(課長級) 約33.0%		女性割合(課長級) 50.0%以上

イ 目標達成に向けた取組内容

(ア) 女性職員の積極的な登用の推進

各種休暇の取得しやすい環境づくりや、時間外勤務（超過勤務）の縮減など、職業生活と家庭生活の両立に関連する事項を推進することで、更なる女性活躍が期待できます。

また、研修等を活用し、性別を問わず、自身のキャリア形成の重要性を認識することや働き方を見つめ直すことのできる機会を創出し、組織全体の成長に向け、すべての職員が存分に能力を発揮できる職場を目指します。

(イ) セクシャル・ハラスメント及びパワー・ハラスメント防止の推進

各種ハラスメントの防止に向け、相談しやすい環境を整備します。

資料編

西知多医療厚生組合
特定事業主行動計画の策定に向けた職員アンケート結果

1 アンケートの目的

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく西知多医療厚生組合特定事業主行動計画の策定に向けて、職員の仕事と子育ての両立等に対する意識及び実態を調査するために実施しました。

2 実施方法

インターネット回答又は紙によるアンケート回答

3 実施期間

令和2年(2020年)12月18日(金)～令和3年(2021年)1月29日(金)

4 対象者

区分		対象者数
総務部(衛生センター)		16人
公立 西知多 総合病院	①医療職[医師]	81人
	②医療職[看護師・保健師・助産師]	436人
	③医療職[①及び②以外]	136人
	④事務職等[①～③以外]	50人
公立西知多看護専門学校		15人
合計		734人

5 回答状況

区分		回答者数(回答率※)	
総務部(衛生センター)		16人	(100.0%)
公立 西知多 総合病院	①医療職[医師]	7人	(8.6%)
	②医療職[看護師・保健師・助産師]	236人	(54.1%)
	③医療職[①及び②以外]	43人	(31.6%)
	④事務職等[①～③以外]	22人	(44.0%)
公立西知多看護専門学校		15人	(100.0%)
合計		339人	(46.2%)

※回答率は「4対象者」に対する回答者数の割合

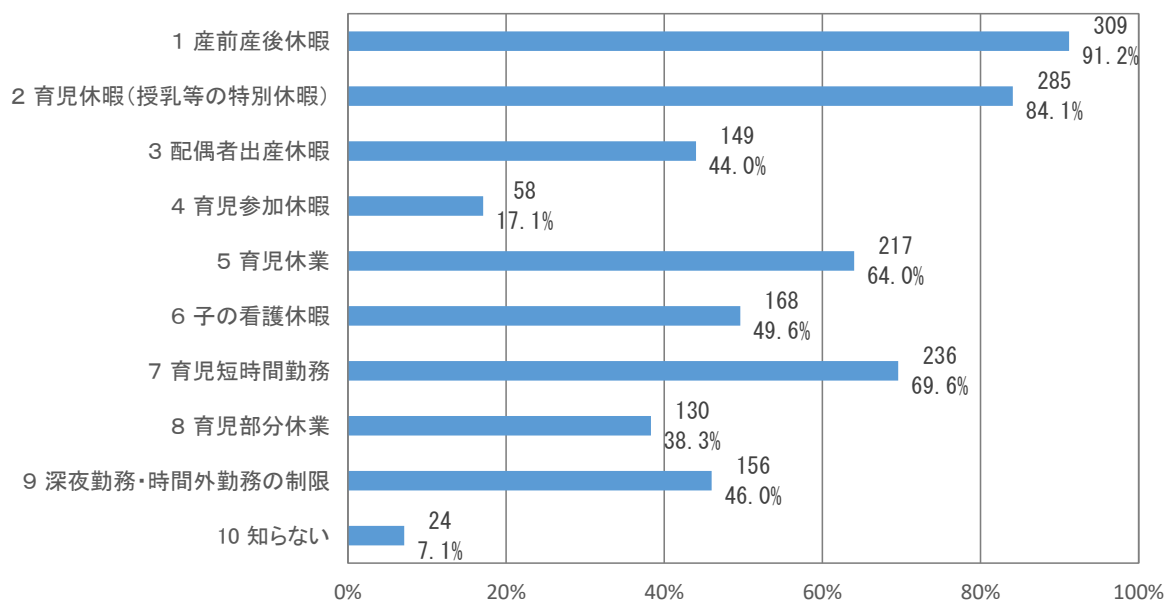
6 設問ごとの回答結果

◎ 妊娠中及び出産後における各種制度について

【問1】現在制度化されている妊娠中及び出産後に関する休暇や制度について、知っているものすべてに○をつけてください。[必須]

複数回答あり、n=339人

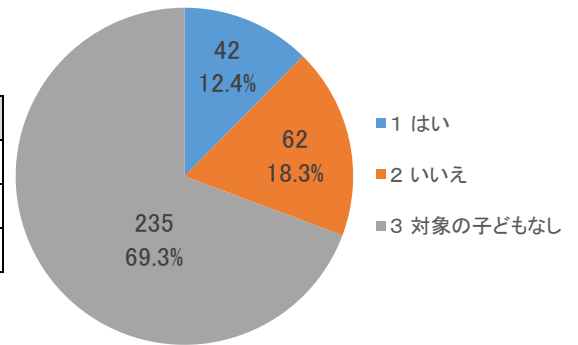
項目	回答者数	割合
1 産前産後休暇	309人	91.2%
2 育児休暇（授乳等の特別休暇）	285人	84.1%
3 配偶者出産休暇	149人	44.0%
4 育児参加休暇	58人	17.1%
5 育児休業	217人	64.0%
6 子の看護休暇	168人	49.6%
7 育児短時間勤務	236人	69.6%
8 育児部分休業	130人	38.3%
9 深夜勤務・時間外勤務の制限	156人	46.0%
10 知らない	24人	7.1%



【問2】ここ5年間（平成27年（2015年）12月～令和2年（2020年）11月）で、育児休業を取得したことがありますか。〔必須〕

n=339人

項目	回答者数	割合
1 はい	42人	12.4%
2 いいえ	62人	18.3%
3 対象の子どもなし	235人	69.3%

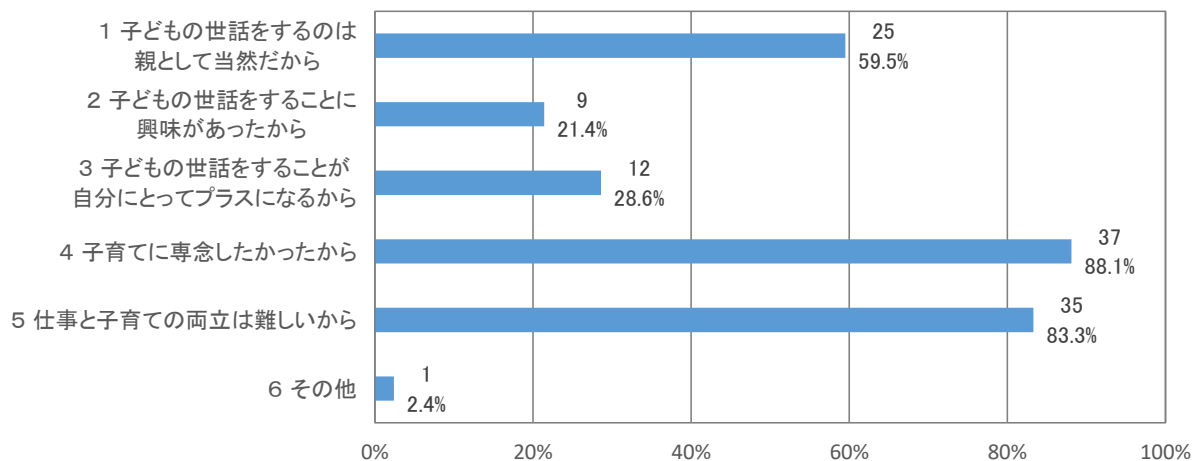


（問2で「1 はい」と回答した方）

【問3】育児休業を取得した理由として、当てはまるものに○をつけてください。

複数回答あり、n=42人

項目	回答者数	割合
1 子どもの世話をするのは親として当然だから	25人	59.5%
2 子どもの世話をすることに興味があったから	9人	21.4%
3 子どもの世話をすることが自分にとってプラスになるから	12人	28.6%
4 子育てに専念したかったから	37人	88.1%
5 仕事と子育ての両立は難しいから	35人	83.3%
6 その他	1人	2.4%



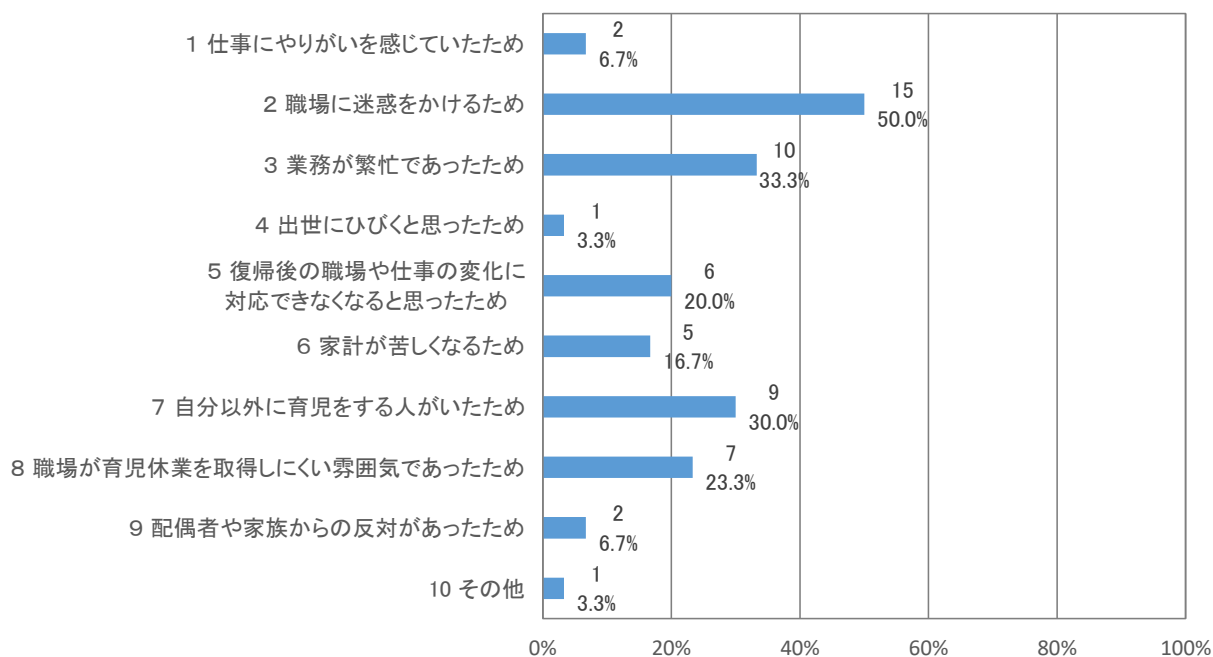
(問2で「2 いいえ」と回答した方)

【問4】育児休業を取得しなかった理由として、当てはまるものに○をつけてください。

複数回答あり、n=62人

項目	回答者数	割合(※)
1 仕事にやりがいを感じていたため	2人	6.7%
2 職場に迷惑をかけるため	15人	50.0%
3 業務が繁忙であったため	10人	33.3%
4 出世にひびくと思ったため	1人	3.3%
5 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思ったため	6人	20.0%
6 家計が苦しくなるため	5人	16.7%
7 自分以外に育児をする人がいたため	9人	30.0%
8 職場が育児休業を取得しにくい雰囲気であったため	7人	23.3%
9 配偶者や家族からの反対があったため	2人	6.7%
10 その他	1人	3.3%
不明	32人	—

※割合は「不明」を除く合計数に対する割合

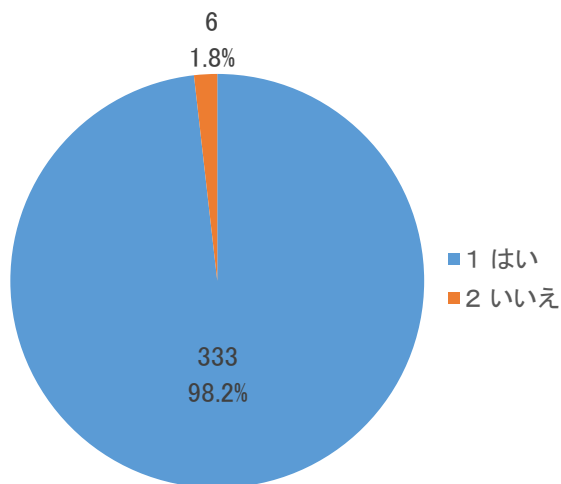


◎ 院内保育所について

【問5】 公立西知多総合病院の敷地内にある院内保育所「さくらんぼハウス」を知っていますか。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 はい	333 人	98.2%
2 いいえ	6 人	1.8%



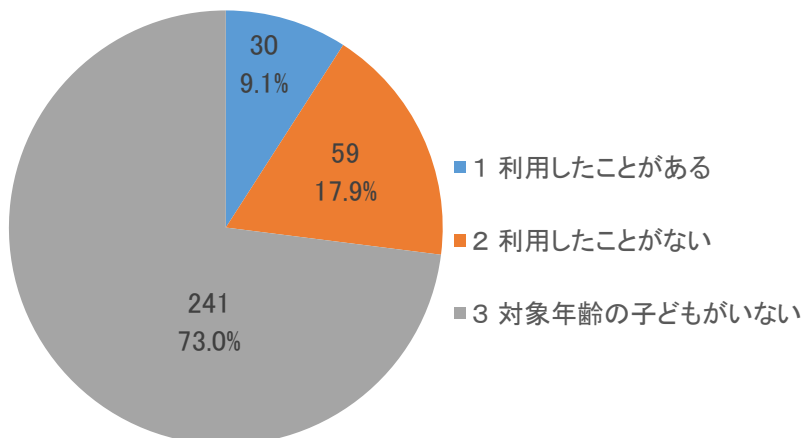
(問5で「1 はい」と回答した方)

【問6】 院内保育所「さくらんぼハウス」を利用したことがありますか。

n=333 人

項目	回答者数	割合(※)
1 利用したことがある	30 人	9.1%
2 利用したことがない	59 人	17.9%
3 対象年齢の子どもがいない	241 人	73.0%
不明	3 人	—

※割合は「不明」を除く合計数に対する割合

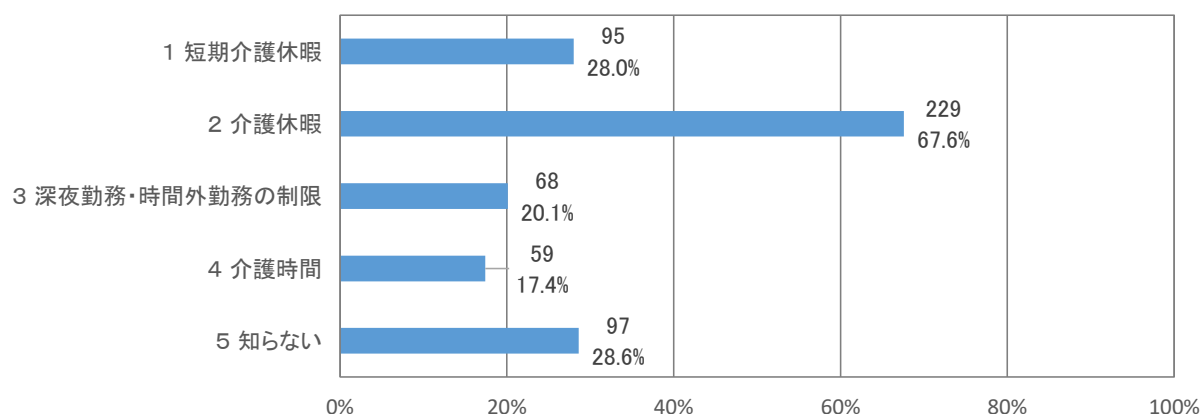


◎ 介護に関する各種制度について

【問7】 現在制度化されている介護に関する休暇や制度について、知っているものすべてに○をつけてください。[必須]

複数回答あり、n=339人

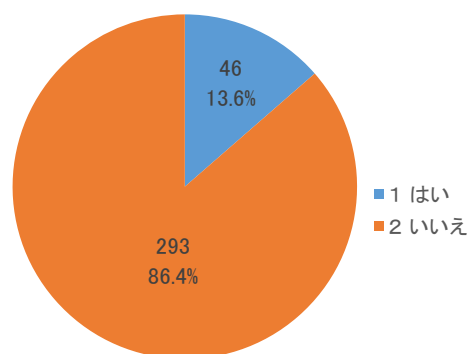
項目	回答者数	割合
1 短期介護休暇	95人	28.0%
2 介護休暇	229人	67.6%
3 深夜勤務・時間外勤務の制限	68人	20.1%
4 介護時間	59人	17.4%
5 知らない	97人	28.6%



【問8】 現在身近に介護が必要な方はいますか。[必須]

n=339人

項目	回答者数	割合
1 はい	46人	13.6%
2 いいえ	293人	86.4%

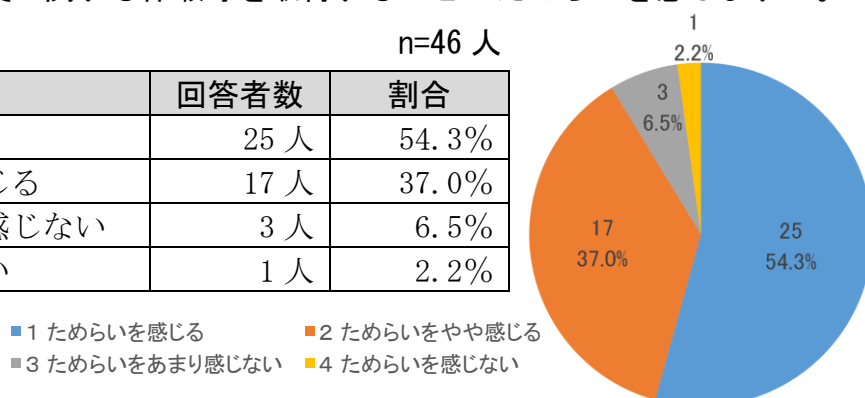


(問8で「1 はい」と回答した方)

【問9】 今の職場は介護に関する休暇等を取得することにためらいを感じますか。

n=46人

項目	回答者数	割合
1 ためらいを感じる	25人	54.3%
2 ためらいをやや感じる	17人	37.0%
3 ためらいをあまり感じない	3人	6.5%
4 ためらいを感じない	1人	2.2%

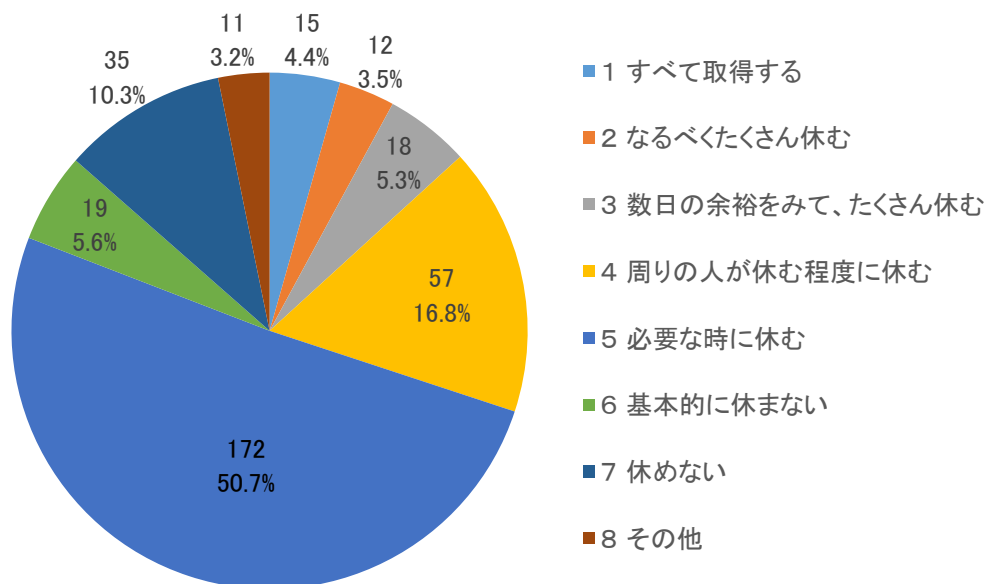


◎ 休暇等の取得について

【問 10】 あなたの年次有給休暇を取得する方針として、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

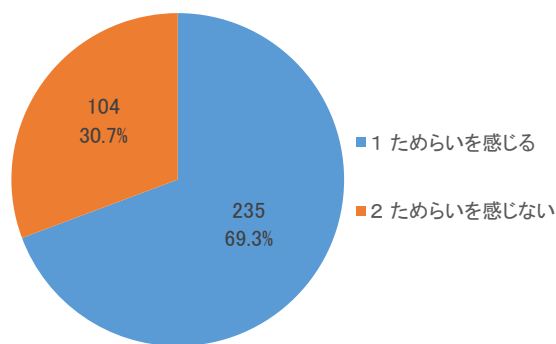
項目	回答者数	割合
1 すべて取得する	15 人	4.4%
2 なるべくたくさん休む	12 人	3.5%
3 数日の余裕をみて、たくさん休む	18 人	5.3%
4 周りの人が休む程度に休む	57 人	16.8%
5 必要な時に休む	172 人	50.7%
6 基本的に休まない	19 人	5.6%
7 休めない	35 人	10.3%
8 その他	11 人	3.2%



【問 11】 年次有給休暇を取得することにためらいを感じますか。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 ためらいを感じる	235 人	69.3%
2 ためらいを感じない	104 人	30.7%



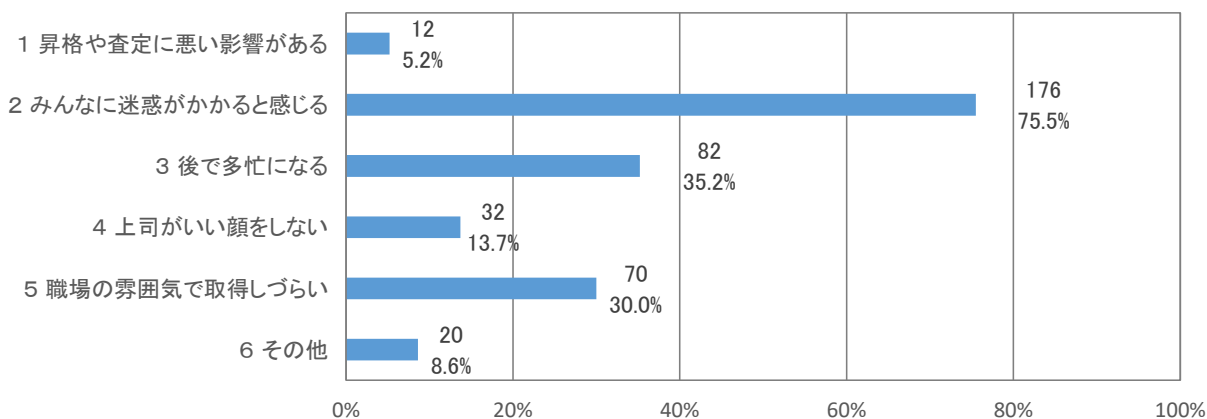
(問 11 で「1 ためらいを感じる」と回答した方)

【問 12】 ためらいを感じる理由として、当てはまるものに○をつけてください。

複数回答あり、n=235 人

項目	回答者数	割合(※)
1 昇格や査定に悪い影響がある	12 人	5.2%
2 みんなに迷惑がかかると感じる	176 人	75.5%
3 後で多忙になる	82 人	35.2%
4 上司がいい顔をしない	32 人	13.7%
5 職場の雰囲気取得しづらい	70 人	30.0%
6 その他	20 人	8.6%
不明	2 人	—

※割合は「不明」を除く合計数に対する割合



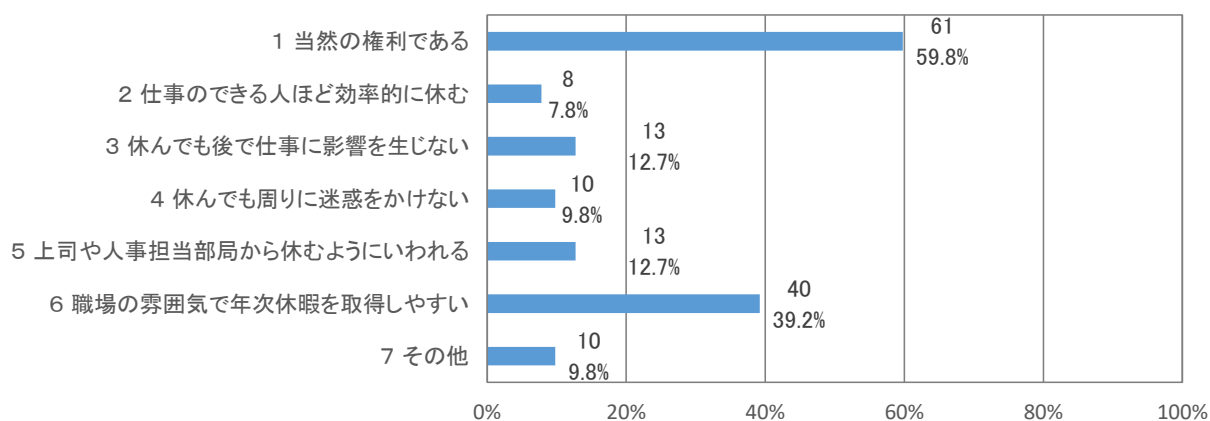
(問 11 で「2 ためらいを感じない」と回答した方)

【問 13】 ためらいを感じない理由として、当てはまるものに○をつけてください。

複数回答あり、n=104 人

項目	回答者数	割合(※)
1 当然の権利である	61 人	59.8%
2 仕事のできる人ほど効率的に休む	8 人	7.8%
3 休んでも後で仕事に影響を生じない	13 人	12.7%
4 休んでも周りに迷惑をかけない	10 人	9.8%
5 上司や人事担当部局から休むようにいわれる	13 人	12.7%
6 職場の雰囲気や年次休暇を取得しやすい	40 人	39.2%
7 その他	10 人	9.8%
不明	2 人	—

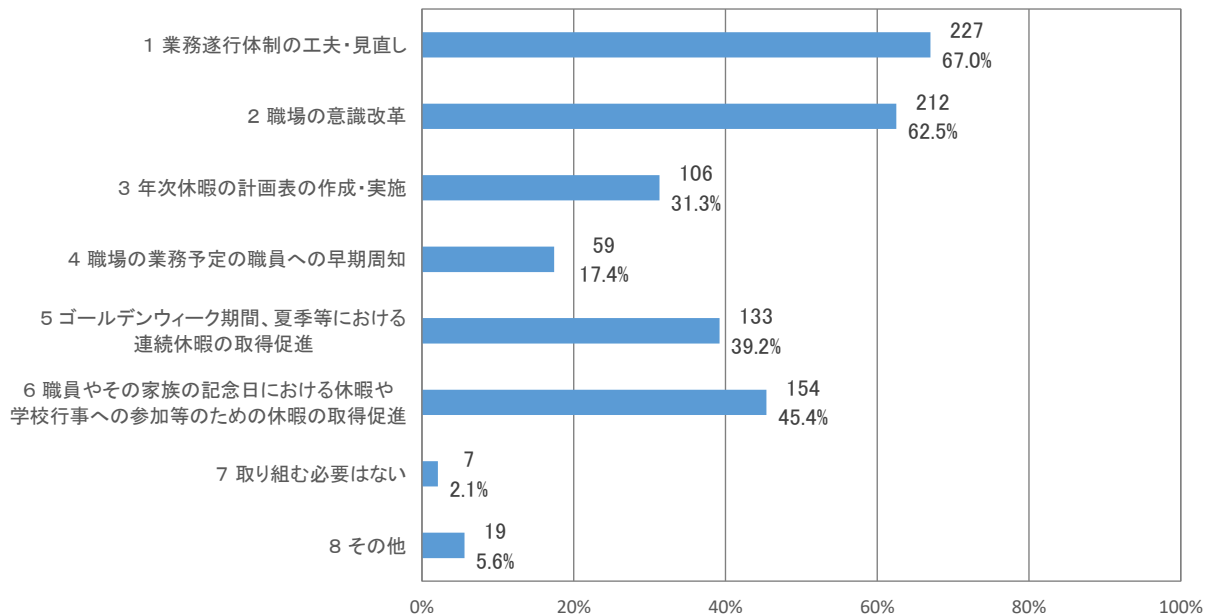
※割合は「不明」を除く合計数に対する割合



【問 14】 休暇の取得を促進するために取り組むことが必要と思われる事項として、
 当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可） [必須]

複数回答あり、n=339 人

項目	回答者数	割合
1 業務遂行体制の工夫・見直し	227 人	67.0%
2 職場の意識改革	212 人	62.5%
3 年次休暇の計画表の作成・実施	106 人	31.3%
4 職場の業務予定の職員への早期周知	59 人	17.4%
5 ゴールデンウィーク期間、夏季等における連続休暇の取得促進	133 人	39.2%
6 職員やその家族の記念日における休暇や学校行事への参加等のための休暇の取得促進	154 人	45.4%
7 取り組む必要はない	7 人	2.1%
8 その他	19 人	5.6%

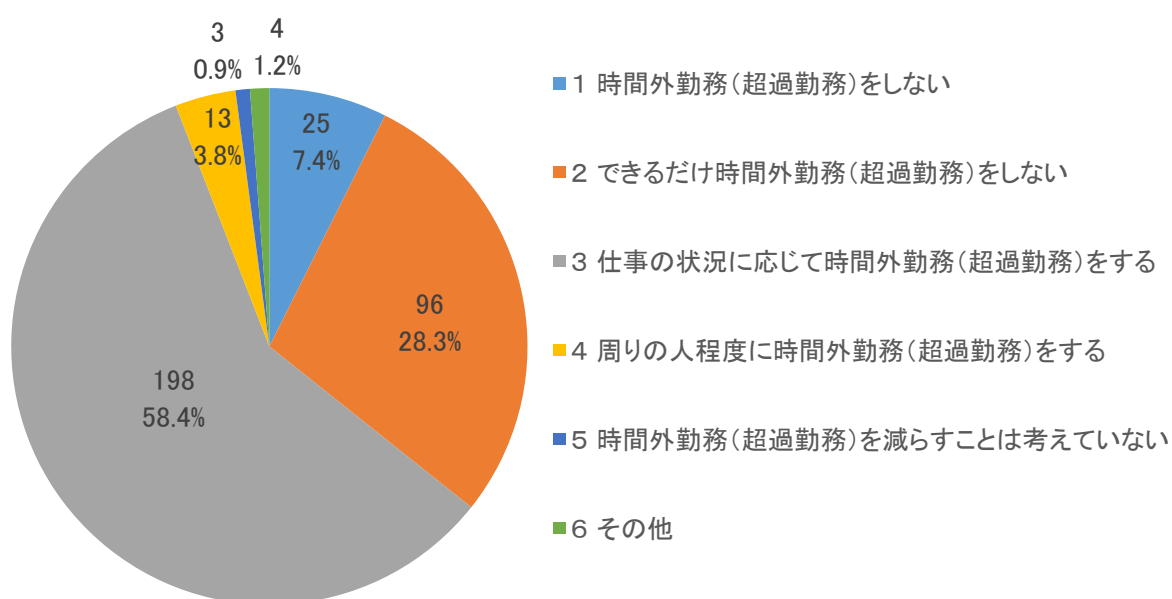


◎ 時間外勤務（超過勤務）について

【問 15】 あなたの時間外勤務（超過勤務）についての考え方として、当てはまるものの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

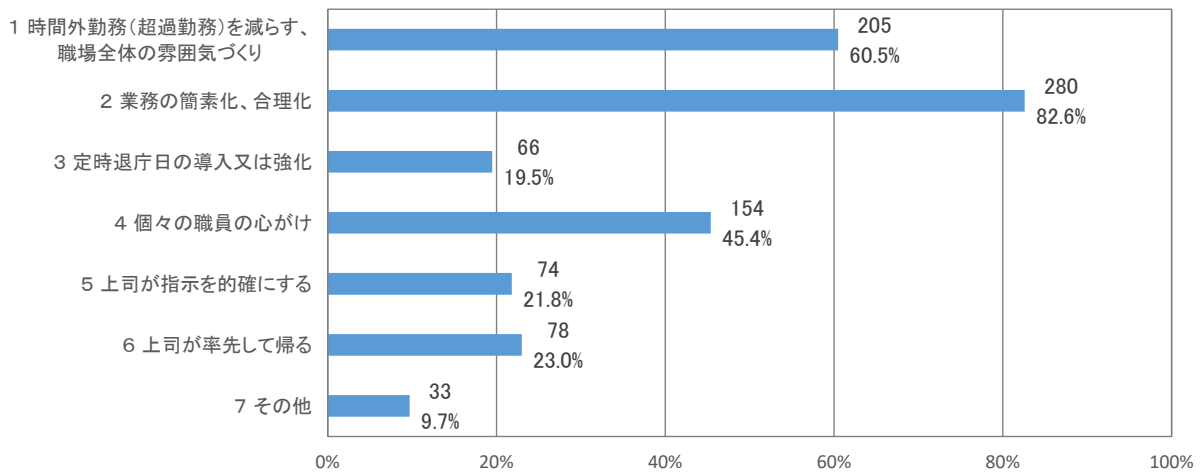
項目	回答者数	割合
1 時間外勤務（超過勤務）をしない	25 人	7.4%
2 できるだけ時間外勤務（超過勤務）をしない	96 人	28.3%
3 仕事の状況に応じて時間外勤務（超過勤務）をする	198 人	58.4%
4 周りの人程度に時間外勤務（超過勤務）をする	13 人	3.8%
5 時間外勤務（超過勤務）を減らすことは考えていない	3 人	0.9%
6 その他	4 人	1.2%



【問 16】 時間外勤務（超過勤務）を減らすために効果的と思われる方法について、
 当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可） [必須]

複数回答あり、n=339 人

項目	回答者数	割合
1 時間外勤務（超過勤務）を減らす、職場全体の雰囲気づくり	205 人	60.5%
2 業務の簡素化、合理化	280 人	82.6%
3 定時退庁日の導入又は強化	66 人	19.5%
4 個々の職員の心がけ	154 人	45.4%
5 上司が指示を的確にする	74 人	21.8%
6 上司が率先して帰る	78 人	23.0%
7 その他	33 人	9.7%

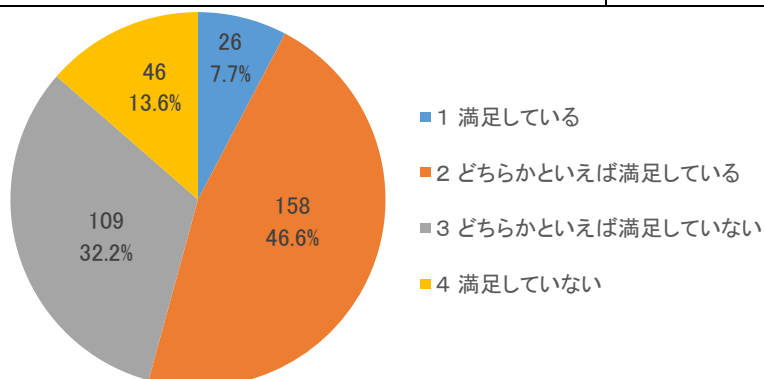


◎ 働き方について

【問 17】今の働き方に満足していますか。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 満足している	26 人	7.7%
2 どちらかといえば満足している	158 人	46.6%
3 どちらかといえば満足していない	109 人	32.2%
4 満足していない	46 人	13.6%



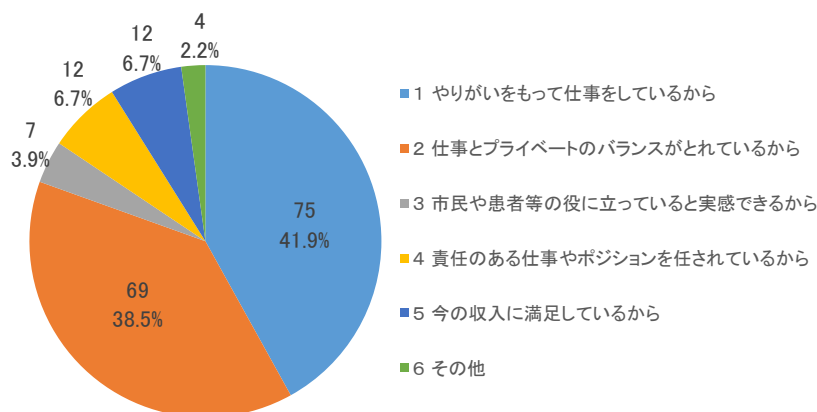
(問 17 で「1 満足している」「2 どちらかといえば満足している」と回答した方)

【問 18】その理由として、最も当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

n=184 人

項目	回答者数	割合(※)
1 やりがいをもって仕事をしているから	75 人	41.9%
2 仕事とプライベートのバランスがとれているから	69 人	38.5%
3 市民や患者等の役に立っていると実感できるから	7 人	3.9%
4 責任のある仕事やポジションを任されているから	12 人	6.7%
5 今の収入に満足しているから	12 人	6.7%
6 その他	4 人	2.2%
不明	5 人	—

※割合は「不明」を除く合計数に対する割合



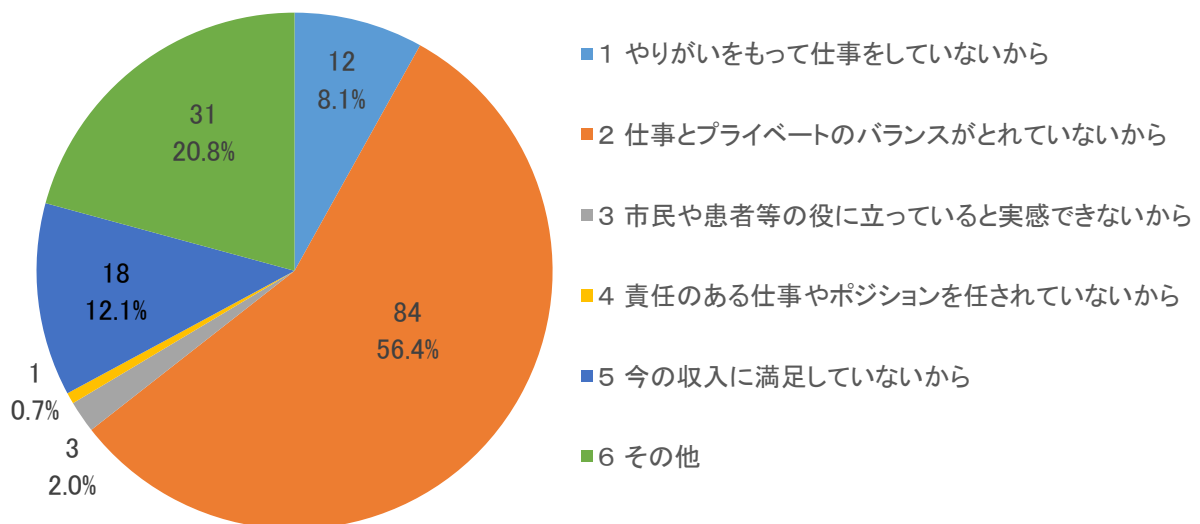
(問 17 で「3 どちらかといえば満足していない」「4 満足していない」と回答した方)

【問 19】その理由として、最も当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

n=155 人

項目	回答者数	割合(※)
1 やりがいをもって仕事をしていないから	12 人	8.1%
2 仕事とプライベートのバランスがとれていないから	84 人	56.4%
3 市民や患者等の役に立っていると実感できないから	3 人	2.0%
4 責任のある仕事やポジションを任されていないから	1 人	0.7%
5 今の収入に満足していないから	18 人	12.1%
6 その他	31 人	20.8%
不明	6 人	—

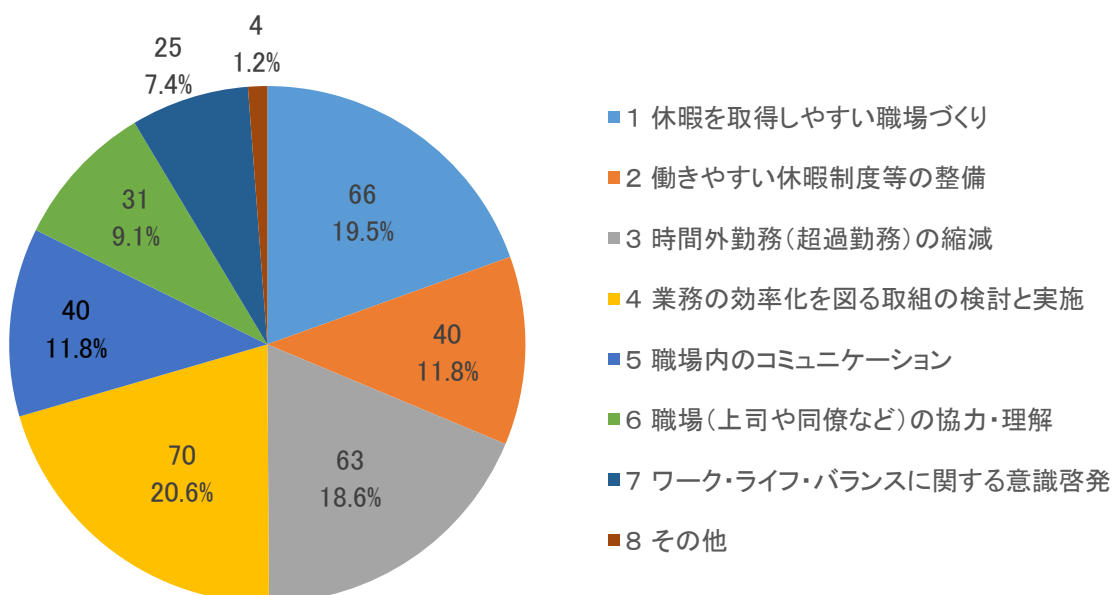
※割合は「不明」を除く合計数に対する割合



【問 20】ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要であることについて、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

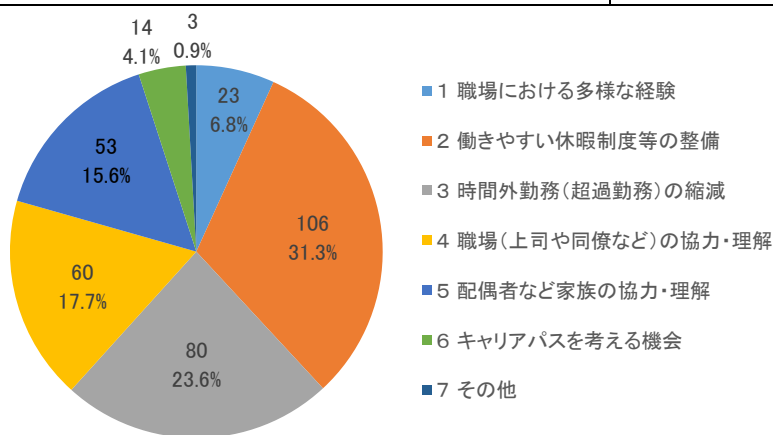
項目	回答者数	割合
1 休暇を取得しやすい職場づくり	66 人	19.5%
2 働きやすい休暇制度等の整備	40 人	11.8%
3 時間外勤務（超過勤務）の縮減	63 人	18.6%
4 業務の効率化を図る取組の検討と実施	70 人	20.6%
5 職場内のコミュニケーション	40 人	11.8%
6 職場（上司や同僚など）の協力・理解	31 人	9.1%
7 ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発	25 人	7.4%
8 その他	4 人	1.2%



【問 21】女性の活躍を推進するために必要であることについて、最も当てはまるものの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

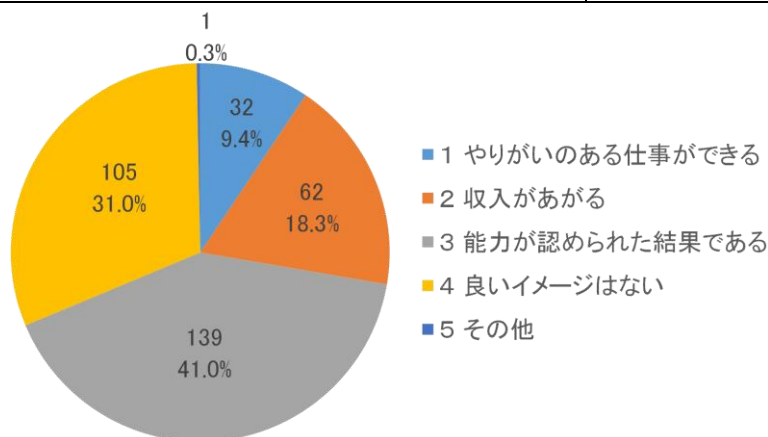
項目	回答者数	割合
1 職場における多様な経験	23 人	6.8%
2 働きやすい休暇制度等の整備	106 人	31.3%
3 時間外勤務（超過勤務）の縮減	80 人	23.6%
4 職場（上司や同僚など）の協力・理解	60 人	17.7%
5 配偶者など家族の協力・理解	53 人	15.6%
6 キャリアパスを考える機会	14 人	4.1%
7 その他	3 人	0.9%



【問 22】課長級以上の役職に昇進することについて、どんな良いイメージをもっていますか。最も当てはまるものの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

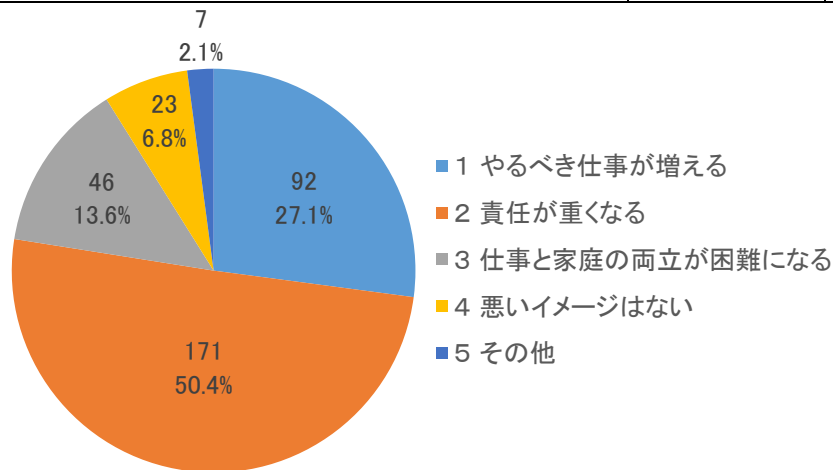
項目	回答者数	割合
1 やりがいのある仕事ができる	32 人	9.4%
2 収入があがる	62 人	18.3%
3 能力が認められた結果である	139 人	41.0%
4 良いイメージはない	105 人	31.0%
5 その他	1 人	0.3%



【問 23】 課長級以上の役職に昇進することについて、どんな悪いイメージをもっていますか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

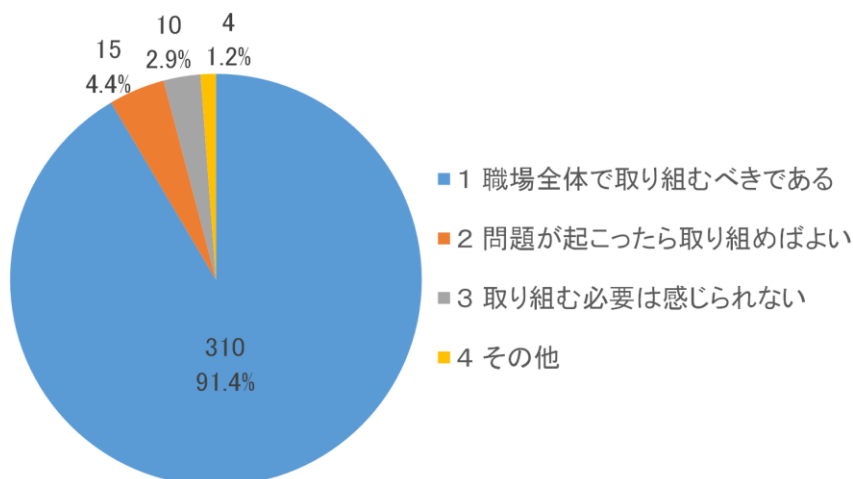
項目	回答者数	割合
1 やるべき仕事が増える	92 人	27.1%
2 責任が重くなる	171 人	50.4%
3 仕事と家庭の両立が困難になる	46 人	13.6%
4 悪いイメージはない	23 人	6.8%
5 その他	7 人	2.1%



【問 24】 職場内のハラスメント防止対策について、どう思いますか。最も当てはまるもの1つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 職場全体で取り組むべきである	310 人	91.4%
2 問題が起こったら取り組めばよい	15 人	4.4%
3 取り組む必要は感じられない	10 人	2.9%
4 その他	4 人	1.2%

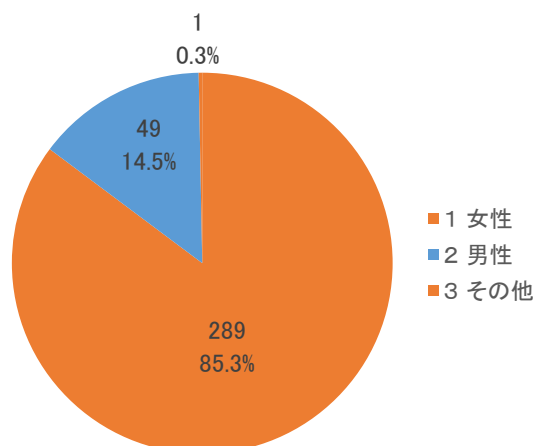


◎ あなた自身について

【問 25】 あなたの考えるあなた自身の性別について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。[必須]

n=339 人

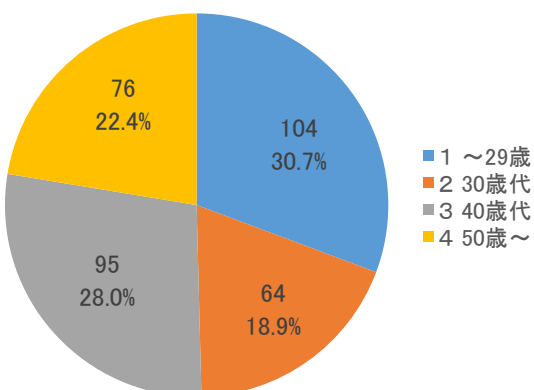
項目	回答者数	割合
1 女性	289 人	85.3%
2 男性	49 人	14.5%
3 その他	1 人	0.3%



【問 26】 あなたの年齢はおいくつですか。[必須]

n=339 人

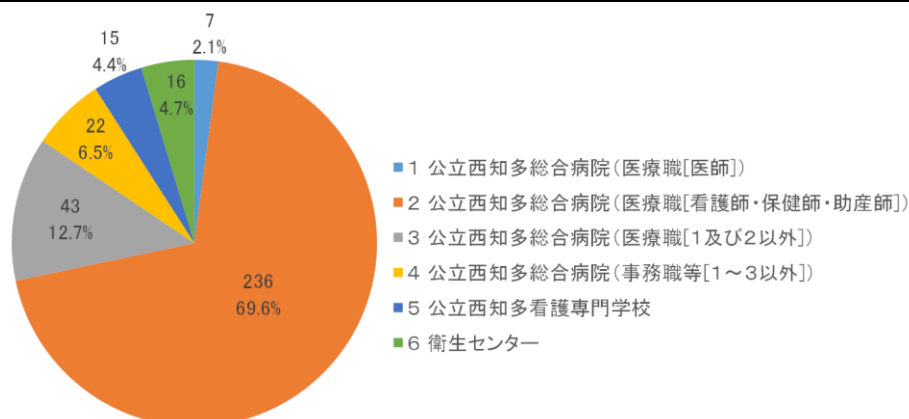
項目	回答者数	割合
1 ~29 歳	104 人	30.7%
2 30 歳代	64 人	18.9%
3 40 歳代	95 人	28.0%
4 50 歳～	76 人	22.4%



【問 27】 あなたの勤務場所（職種）はどれですか。[必須]

n=339 人

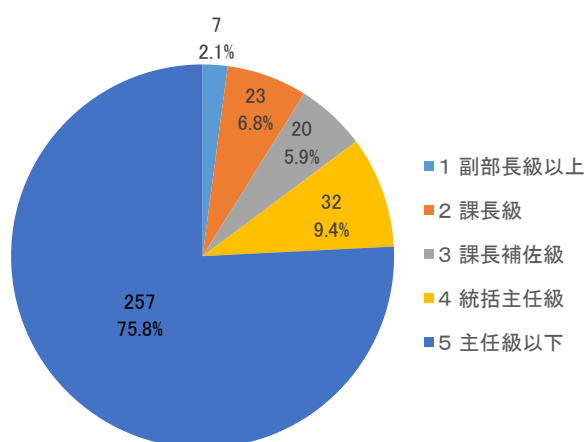
項目	回答者数	割合
1 公立西知多総合病院（医療職[医師]）	7 人	2.1%
2 公立西知多総合病院（医療職[看護師・保健師・助産師]）	236 人	69.6%
3 公立西知多総合病院（医療職[1 及び 2 以外]）	43 人	12.7%
4 公立西知多総合病院（事務職等[1～3 以外]）	22 人	6.5%
5 公立西知多看護専門学校	15 人	4.4%
6 衛生センター	16 人	4.7%



【問 28】 あなたの役職はどれですか。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 副部長級以上（院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、局長、次長、副看護部長、校長）	7 人	2.1%
2 課長級（課長、科長、看護師長、教務主任）	23 人	6.8%
3 課長補佐級（副科長、副看護師長、主幹）	20 人	5.9%
4 統括主任級（医長、主任指導技術員、専任教員（係長級）、統括主任）	32 人	9.4%
5 主任級以下（医員、主任、専任教員（係長級以外）、主事、主事補）	257 人	75.8%

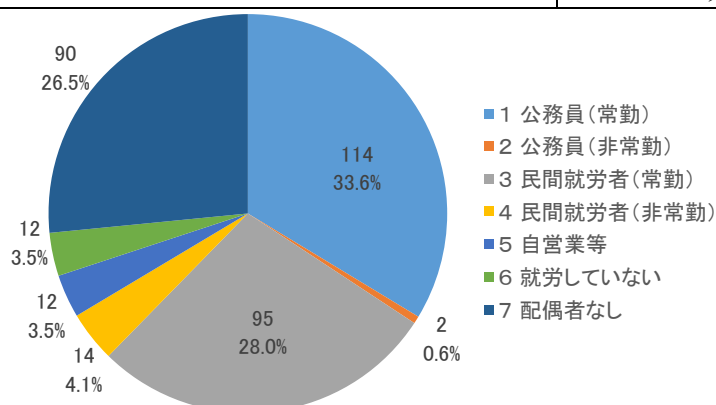


【問 29】 配偶者の就労状況について、当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

[必須]

n=339 人

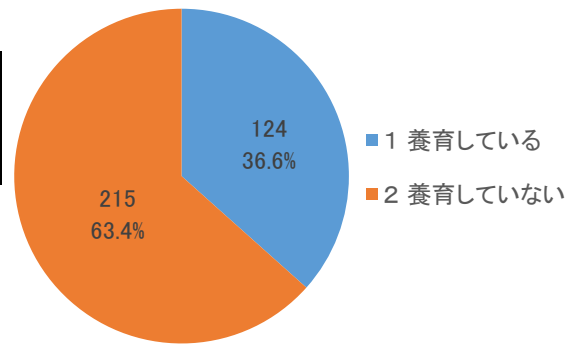
項目	回答者数	割合
1 公務員（常勤）	114 人	33.6%
2 公務員（非常勤）	2 人	0.6%
3 民間就労者（常勤）	95 人	28.0%
4 民間就労者（非常勤）	14 人	4.1%
5 自営業等	12 人	3.5%
6 就労していない	12 人	3.5%
7 配偶者なし	90 人	26.5%



【問 30】 現在、あなたは子ども（18 歳以下）を養育していますか。[必須]

n=339 人

項目	回答者数	割合
1 養育している	124 人	36.6%
2 養育していない	215 人	63.4%

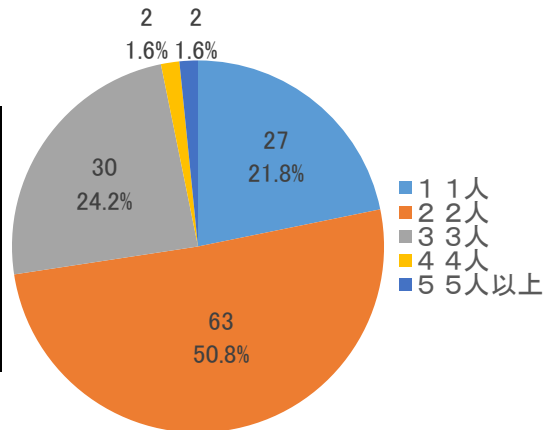


(問 30 で「1 養育している」と回答した方)

【問 31】 子どもの人数は何人ですか。

n=124 人

項目	回答者数	割合
1 1人	27 人	21.8%
2 2人	63 人	50.8%
3 3人	30 人	24.2%
4 4人	2 人	1.6%
5 5人以上	2 人	1.6%



(問 30 で「1 養育している」と回答した方)

【問 32】 子どもの世代はどれですか。(複数回答可)

n=124 人

項目	回答者数	割合
1 乳児（0～1歳）	16 人	13.0%
2 幼児（2～6歳）	50 人	40.7%
3 小学生	60 人	48.8%
4 中学生	40 人	32.5%
5 高校生	36 人	29.3%
不明	1 人	—

